

第2学年3組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成30年6月13日（水）5時間目（13:30～14:15） 2年3組教室

2. 議題 「みんなで学級目標ボードを作ろう」

学級目標

3. 議題について

やさしく がんばる かんがえる

（1）児童の実態

明るく、素直な気持ちをもつ子どもたちである。泣いている子や困っている子がいると、すぐに気づき、自分たちで解決しようと声をかける優しさを見せる場面も多く見られる。

進級当初は初めてのクラス替えで新しい友達との関わりに戸惑う子もいた。しかし、2か月が過ぎて休み時間は校庭でドッジボールをしたり、教室で係活動をしたりと、それぞれの居場所を見つけて楽しく過ごしている。一方で、授業中や日直の話などさまざまな場面で最後まで話を聞くことに課題がある。子どもたちからも「もっと先生や友達の話をよく聞くことができる2年生になりたい」という思いがあがった。年度当初から話し手が安心できる聞き方ができるように、「あたたかい聞き方とやさしい話し方」について子どもたちと一緒に考え、指導している。

（2）これまでの学級活動での取り組み

【係活動】

学級開きにあたり当番活動と係活動の違いについて説明した。子どもたちは1年生の係活動の経験からその違いをよく理解しており、自分たちで考えてクラスをより楽しくする活動をしようというめあてのもと、飾り、図書（読み聞かせ）、音楽、おわらいなどのグループができた。お知らせボードを使ってみんなに活動を伝えたり、休み時間、朝の時間を使って積極的に活動に取り組んだりする姿が見られる。

【学級目標】

学級目標は、担任の思いを伝えた後、今のクラスのいいところともっとがんばりたいこと、どんな2年生になりたいかという視点から話し合った。どんなときも友達に優しくしたい、何事も一生懸命頑張りたい、話をよく聞くために、1年生のお手本になるためによく考えて行動したいという思いから、「やさしく がんばる かんがえる」に決まった。

【学級活動】

自分たちで話し合ったことが実現されることから、学級会に対して前向きな気持ちをもつ子が多いようだった。4月中旬から議題箱には、「まだ名前を知らない友達がいるからみんなで遊びたい」、「みんなで遊んでもっとなかよくなりたいたい」という思いが寄せられてきた。第1回学級会は「2年3組よろしくね集会をしよう」という議題で、担任が司会グループの手本となり行った。事後の活動では、運動会練習の合間を上手に使って、主体的に準備を進めていた。集会では、お花見をする桜の木を作った。桜のカードに、みんなと一緒にやりたいことを書いたとき、「集会をやりたい」という思いが書かれていた。集会后、次の議題カードにも「もっとみんなと集会がしたい」という思いが表れていた。第2回学級会は、運動会が終わって、みんなを褒める集会がしたいという思いから「運動会おつかれ集会をしよう」という議題で話し合った。この回から、司会グループは子どもたちが行った。初めて司会グループを立ち上げ、司会グループは計画カードを書き、また全

員が学級会カードを書いた。学級会カードを書いたり、円形になって話し合ったりすることで安心して発言する姿が多くみられた一方で、まとめる段階では折り合いをつけることの難しさを感じた。

(3) 議題設定の理由

これまで「友達を作りたい」「がんばったみんなを褒め合いたい」という視点から、2回の集会活動に取り組んできた。本実践では、初めて「何か一つのものを作りたい」という思いが寄せられ、提案理由には「みんなで力を合わせて」という新しい視点が表れている。

他にも議題案としては、ドッジボールをしよう、スポーツ集会をしようなどがあった。朝の会・帰りの会で話し合う、係にお願いするなど議題案の扱いを明らかにした上で、今回の議題を選定した。

また初めに寄せられた議題案は「クラスで大きな絵を描こう」だった。提案者は一つのものを作ることを大切にしており、絵のテーマについては具体的なイメージをもっていなかった。計画委員で話し合い、よりみんながイメージを共有して取り組むためにテーマを決めることになった。そこでまだ学級目標の掲示を作っていないことから「みんなで学級目標ボードを作ろう」という議題に決まった。

(4) 本実践で大切にしたいこと

「みんなで力を合わせて一つのものを作ることで、もっと友達になれそう」という提案者の思いを大切にみんなが参加できるものにしていきたい。計画委員で話し合った後、学級目標を掲示したり、学級目標ボードを掲示する場所を具体的に示したりして、より多くの子が完成イメージをもって話し合いに臨めるようにする。

子どもたちが司会グループを担うのは2回目なので、担任はサポート司会として学級会に参加し、めあてにそった話し合いができるような声かけや意見の分類などを中心に助言していく。特に話し合いの進め方の助言は司会グループだけではなく、全員がわかるように行うことで、次の話し合いにつなげていきたい。進行司会には話し合いの全体のながれがわかるような簡易的な台本を渡す。分類するときや話し合いが停滞したときに色カードを操作し、視覚的にわかりやすくする。

第1回、2回の学級会では「遊びたい」という思いが強い議題だったので、本実践では一つのことを「作る」ことで、力を合わせて得られる達成感や充実感を味わってほしいと願う。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実態

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月4日(月) 中休み	・計画委員を集め、寄せられた議題から議題を選定する。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案に関心をもち、議題選定に進んで取り組んでいる。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月5日(火) 中休み	・計画委員で話し合いのめあて、学級会の進め方や役割分担について話し合う。	○今回の学級会では、何を大切に話し合いをしたかを共有する。 ○提案者の思いに対して共通のイメージをもてるようにする。 ○それぞれの役割や話し合いの流れをイメージできるように「キャリア在り方生き方ノート」を活用する。 ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
6月7日(木) 朝の時間	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。 ・学級会ノートに自分の考えを書く。	○どのように学級全体に伝えるか事前に確認しておく。 ☆議題に対して関心をもち、話し合いの見通しをもっている。 ○柱1と2について学級会ノートに自分の考えを書くように伝える。話し合いのめあてを意識させる。 ☆学級会ノートに自分の考えを記入し、話し合いの準備をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月11日(月) 中休み	・出された意見を整理しながら、学級会の進め方について最終確認をする。	○司会グループと一緒に学級会ノートを見て、話し合いの流れを予想したり、時間配分を考えたりして、司会グループが落ち着いて運営できるように準備を進める。 ☆話し合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい みんなで力を合わせて学級目標ボードを作る方法を話し合い決める。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認</p> <p>議題</p> <p>「みんなで学級目標ボードを作ろう」</p> <p>4. 提案理由の確認</p> <p>提案理由</p> <p>「みんなで力を合わせて、一つのものを作りた いからです。みんなで力を合わせるともっと 友達になれると思うからです。」</p> <p>5. めあての確認</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>「みんなで力を合わせて学級目標ボードを完成 させよう。」</p> <p>6. 決まっていることの確認</p> <p>6月21日(木) 5時間目 掲示場所：教室の後ろ</p> <p>7. 話し合い</p> <p>話し合うこと①</p> <p>「どのようなデザインにするか」</p> <p>話し合うこと②「どのようにかくか」</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. ふり返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	<p>○座席は円形にし、互いの顔を見ながら話し合いが行える ようにする。</p> <p>○司会グループは、自分のめあても話せるように指導し ておく。</p> <p>○司会進行は進行表を活用しながら進めていくように助 言する。</p> <p>○提案者に対して、どのような気持ちで本議題を提案し たかを自分の言葉で伝えることができるよう事前に指 導しておく。</p> <p>○話し合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認 するよう声をかける。</p> <p>○決まっていることを事前に掲示し、確認することで話 合いの内容が明確になるようにする。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し 合いが停滞したり、めあてからそれたりした時には助言 する。</p> <p>○「みんなで力を合わせる」デザインやかき方を考えて 聞いたり、発表したりするように伝える。</p> <p>☆司会や記録の仕事、話し合いに進んで取り組もうとして いる。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>☆友達の見聞を聞いたり、自分の意見を発表したりし て、話し合いを進めている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意 識した意見や態度などを見つけて称賛し、意欲をもっ て実践できるようにする。</p> <p>○自分たちのこととして話し合ったり、実践に向けてど のような思いになったりしているかについて振り返る よう助言する。</p>

③ 板書計画

	だい3かい 学びゆうかい ぎだい みんなで学びゆうもくひょうボードをつくろう	ていあんりゆう みんなで力を合わせて、一つのものを作りたいからです。力をあわせるともっと友だちになれるとおもうからです。	はなしあいのめあて みんなで力を合わせて学びゆうもくひょうボードをつくろう	はなしあうこと① どのようなデザインにするか ・みんなのかお ・さくらんぼ ・かえる ・にじ	はなしあうこと② どのようにかくか
きまっていること 6月21日(木) 5じかん目 きょうしつのはしりにはる					

(2) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月14日(木) 朝の時間	・役割分担をする。	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ☆活動の内容や準備などについて考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月15日(金)～ 休み時間	・役割分担にもとづいて準備をする。	○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆決まった役割の準備を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月21日(木) 5校時	・「みんなで学級目標ボードを作る」を行う	○安全に行えるように見守り、必要に応じて助言をする。 ☆仲よく助け合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月21日(木) 帰りの会	・実践のふりかえりを学級会ノートに書く	○自分や友達の良いところや頑張りに目を向けてふり返りをするように助言する。 ○次にどんなことをしたいか、また今回の反省をどう次に活かしていきたいかについても書くよう助言する。 ☆みんなで活動する楽しさを知り、自分の役割について理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)